

野間秀樹 研究業績一覧

単行本など

【著書】(単著・単編) -----

- 1) 『길 朝鮮語への道』
1988年4月発行. 総243頁. 東京:有明学術出版社
- 2) 『〈朝鮮語への道〉準拠 練習問題集』
1989年1月発行. 総62頁. 東京:アジア学生文化協会
- 3) 『朝鮮語分類基礎語彙集』
野間秀樹編 1998年3月27日発行. 東京:東京外国語大学語学教育研究協議会.
- 4) 『暮らしの単語集 韓国語』
1999年6月18日発行 総416頁. 東京:ナツメ社. ISBN4-8163-2551-4
- 5) 『至福の朝鮮語』, 『新・至福の朝鮮語』
2000年5月16日発行 総296頁. ISBN4-255-00026-3 C0087
2007年5月1日初版. 2007年10月10日第2版. 総297頁. 東京:朝日出版社
- 6) 『한국어 어휘와 문법의 상관구조』(韓国語 語彙と文法の相関構造)
노마 히데키 [野間秀樹] 著. 서울(ソウル): 태학사(太学社).
2002年2月20日発行. 総444頁. ISBN 89-7626-742-7.
* 大韓民国学術院 2003年優秀学術図書
- 7) 『入門を終えたら 直訳を超える! 絶妙のハングル』
2007年2月15日発行. 東京:日本放送出版協会. 総192頁. ISBN978-4-14-039452-6.
- 8) 『ハングルの誕生—音(おん)から文字を創る』 2010年5月15日発行. 総369頁. 東京:平凡社.
ISBN978-4-582-85523-4. * 第22回アジア・太平洋賞大賞受賞. * 日本図書館協会選定図書

【編著書】(単編・共著) -----

- 9) 『韓国語教育論講座 第1巻』
2007年4月25日. 総727頁. 東京:くろしお出版.
野間秀樹編著. ISBN 978-4-87424-374-9
- 10) 『韓国語教育論講座 第4巻』
2008年1月25日. 総817頁. 東京:くろしお出版.
野間秀樹編著. ISBN 978-4-87424-410-4
- ** 『韓国語教育論講座 第2巻』
2011年6月刊行予定. 東京:くろしお出版.
野間秀樹編著.

【編著書】(共著) -----

- 11) 『朝鮮語を学ぼう』
1987年10月発行. 菅野裕臣他と共著. 総342頁. 東京:三修社. ISBN4-384-01506-2
- 12) 『コスモス朝和辞典』
1988年11月10日. 菅野裕臣他と共著. 総1053頁. 東京:白水社. ISBN-4-560-00096-4
- 13) 『朝鮮語初級読本』
朝鮮語学科研究室編 (菅野裕臣他と共編). 1990年3月. 総352頁.
東京:東京外国語大学語学教育研究協議会

- 14) 『朝鮮語文体範例読本』
朝鮮語学科研究室編. 1992年3月 (菅野裕臣他と共編). 総379頁.
東京:東京外国語大学語学教育研究協議会
- 15) 『ハングル学習の手引き』
ハングル能力検定試験出題基準検討委員会. 油谷幸利・朴宰秀・野間秀樹・曹喜澈・呉文淑・金珍娥共編著.
2002年10月9日発行. 総164頁. 東京:ハングル能力検定協会発行. ISBN4-938758-90-3.
- 16) 『ぶち韓国語』
野間秀樹・村田寛・金珍娥著. 2004年7月20日発行. 総283頁. 東京:朝日出版社.
ISBN4-255-00286-X.
- 17) 『NHK ラジオアンニョンハシムニカハングル講座 応用編』
(入門編)増田忠幸・(応用編)野間秀樹著. 2004年7月号-9月号, 2005年7月号-9月号.
東京:日本放送出版協会.
- 18) 『Viva! 中級韓国語』
野間秀樹・金珍娥著. 2004年10月1日発行. 総323頁. 東京:朝日出版社. ISBN978-4-255-00289-7
ISBN4-255-00289-4.
- 19) 『Campus Corean はばたけ! 韓国語』
野間秀樹・村田寛・金珍娥著. 2007年4月1日発行.
総215頁. 東京:朝日出版社. ISBN978-4-255-55604-8
- 20) 『ニューエクスプレス韓国語』
野間秀樹・金珍娥著. 2007年11月20日. 総160頁. 東京:白水社. ISBN978-4-560-06782-6
- 21) 『きらきら韓国語』
野間秀樹・金珍娥・中島仁・須賀井義教著. 2010年6月30日. 総237頁. 東京:同学社.
ISBN978-4-8102-0268-7

論文など

【研究論文】 (*印以外は全て単著) -----

* 以下, ハングルには一部ローマナイズを付す

- 1) 「〈하겠다 hageissda〉の研究—現代朝鮮語の用言の mood 形式をめぐって」
『朝鮮学報』129輯 pp.1-73(総73頁) 朝鮮学会 1988年10月
- 2) 「〈할 것이다 harges'ida〉の研究—再び現代朝鮮語の用言の mood 形式をめぐって」
『朝鮮学報』134輯 pp.1-64(総64頁) 朝鮮学会 1990年1月
- 3) 「現代朝鮮語の名詞分類—語彙論・文法論のために」
『朝鮮学報』135輯 pp.1-59(総59頁) 朝鮮学会 1990年4月
- 4) 「朝鮮語のオノマトペ
—擬声擬態語の境界画定、音と形式、音と意味について—」
『学習院大学言語共同研究所紀要』第13号(1990) pp.24-47(総24頁)
学習院大学言語共同研究所 1991年7月
- 5) 「朝鮮語のオノマトペ
—擬声擬態語と派生・単語結合・シンタックス・テキストについて—」
『学習院大学言語共同研究所紀要』第14号(1991) pp.75-88(総14頁)
学習院大学言語共同研究所 1992年7月
- 6) 「現代朝鮮語の対格と動詞の統辞論」
『言語研究』 pp.77-168(総92頁) 東京外国語大学語学研究所 1993年3月
- 7) 「現代韓国語의 接續形 〈-다가〉에 대하여—aspect・taxis・動詞分類—」

(現代朝鮮語の接続形<-daga)について—aspect·taxis·動詞分類—)

『朝鮮學報』149輯 pp.1-62(總 62頁) 朝鮮學會 1993年 10月

8) 「現代朝鮮語の語彙分類の方法」

『言語研究』 pp.45-68(總 24頁) 東京外國語大學 1994年 3月

9) ‘바람직한 한국어 교재란? baramjighan hangug'e giojairan? — 일본어 화자의 경우 irbon'ehoaja'yi gieng'u’ (望ましき朝鮮語教材とは? — 日本語話者の場合)

『語學研究所論集』第 1号 pp.51-81(總 31頁). 東京外國語大學語學研究所 1996年 3月

10) ‘한국어 문장의 계층구조 hangug'e munjang'yi gieicynggujo’ (朝鮮語の文の階層構造)

《언어학 'en'ehag》(言語學) pp.133-180 (總 48頁) 서울(ソウル): 한국언어학회 (韓國言語學會). 1996年 12月

11) ‘한국어의 대우법 체계 hiendai hangug'e'yi dai'ubeb ceigiei’ (現代朝鮮語의 待遇法體系)

《말 mar》第 21輯 pp.15-54 (總 40頁). 서울(ソウル): 延世大學校延世語學院韓國語學堂 1996年 12月

12) ‘1980년대 이후 일본에서의 현대 한국어 문법론, 어휘론 연구 1980niendai 'ihu 'irbon'eise'yi hiendaihangug'e munbebron, 'ehuiron 'iengu : 언어사실주의의 전개'en'esasirju'yi'yi jengai’

(1980年代以降の日本における現代朝鮮語文法論・語彙論研究 — 言語事實主義の展開)

《韓國文化》18 pp.73-109 (總 37頁). 서울(ソウル): ソウル大學校韓國文化研究所 1996年 12月

13) 「朝鮮語と日本語の連体修飾節(冠形節)構造」

『朝鮮文化研究』第 4号 pp.100-128 (總 29頁). 東京大學文學部朝鮮文化研究室 1997年 3月

14) 「朝鮮語の文の構造について」

『国立國語研究所報告日本語と朝鮮語の対照研究3 日本語と朝鮮語』

pp.103-138 (總 36頁) 国立國語研究所(くろしお出版発売) 1997年 6月

15) ‘한국어 모어화자의 일본어 피치악센트 교육을 위하여 hangug'e mo'ehwaja'yi 'irbon'e pici'agseinty gio'iug'ur 'wiha'ie’ (韓國語母語話者の日本語ピッチアクセント教育のために)

『韓日語文學論叢』梅田博之教授古稀記念論叢刊行委員會編

pp.651-675 (總 25頁). 서울(ソウル): 太學社. 2001年 4月 24日

16) ‘일본어권 한국어 교사의 기본 조건 irbon'eguen hangug'e giosa'yi gibonjogen’ (日本語圈韓國語教師의 基本條件)

《gug'egio'iug'iengu》(國語教育研究) jei 9 jib. pp.39-67 (總 29頁). 서울(ソウル): se'urdaihaggio gug'egio'iug'ienguso (ソウル大學校國語教育研究所) 2002年 3月 30日

ISSN1227-8823

17) ‘한국어 단어결합론의 심화를 위하여 hangug'e dan'egierhabron'yi siahoaryr uiha'ie’ (韓國語單語結合論の深化のために)

《국어학 gug'ehag》(國語學) jei 39 jib. pp.361-396. 國語學會編. 서울(ソウル): 太學社發行 2002年 6月 30日.

18) ‘한국어 문법교육의 새로운 전개를 위하여`hagnue'e bunbebgio'iug'yi sairoun jengairyr 'uiha'ie’ (韓國語文法教育의 新たな展開のために)

《외국어로서의 한국어 교육 'oigug'erosse'yl hangug'e gio'iug》(外國語としての韓國語教育) jei 27 jib. (第 27輯). pp.83-101.

서울(ソウル): '연세대학교 언어교육원 한국어학당 ienseidaihaggio 'en'e'iengugio'iug'uen hangug'ehagdang (延世大學校言語研究教育院韓國語學堂). 2002年 12月 31日.

19) ‘일본어 모어화자 학습자를 위한 한국어 기초 학습어휘 선정과 제시 방법 irbon'e mo'ehwaja hagsybjaryr 'uihan hangug'e gico gagsyb'ehui senjeng'goa jeisi bangbeb’

(日本語母語話者學習者のための韓國語基礎學習語彙選定と提示方法)

《한국어 교육과 학습 사전 hangug'e gio'iuggoa hagsyb sajen》(韓國語教育と學習辭典) pp.133-157. 서울(ソウル): 연세대학교 언어정보개발연구원 'ienseidaihaggio 'en'e'jengbogaibar-

- 'iengu'uen (延世大学校言語情報開発研究院). 서울 (ソウル): 한국문화사 hangug- munhoasa (韓国文化社) 刊. 2001年10月.
- 20) 'irbon daihag daihaguen'yi hangug'e gioiug' (日本の大学の大学院における韓国語教育)
《hangug'e gioiug》jei 14 guen 2 ho. 2003年9月. pp. 83-106. 서울 (ソウル): gugjeihangug'e-gioiughaghoi (国際韓国語教育学会 IAKLE)
- 21) 「朝鮮語母語話者の日本語ピッチアクセント教育のために」
『韓国語母語話者の日本語音声 研究論文集』pp.57-71. 2003年3月31日. 東京外国語大学外国語学部 鮎澤研究室
- 22) Noma(2005b) When Words Form Sentences; Linguistic Field Theory: From Morphology through Morpho-Syntax to Supra-Morpho-Syntax.
"Corpus-Based Approaches to Sentence Structures." Usage-Based Linguistic Informatics 2. Edited by Toshihiro Takagaki, Susumu Zaima, Yoichiro Tsuruga, Francisco Moreno-Fernández and Yuji Kawaguchi. pp.51-75. Amsterdam/ Philadelphia: John Benjamins. 2005年4月.
- 23) 「韓国と日本の韓国語研究—現代韓国語の文法研究を中心に—」
『日本語学』2005年7月号. vol.24. no.8. pp.16-31. 東京: 明治書院
- 24)* 나카지마 히토시 nakajima (中島仁) と共著. '일본의 한국어 교육 'irbon'ei hangug'e gio'iug'(日本の韓国語教育)
"한국어 교육론 hangug'e gio'iugron1"(韓国語教育論 1). 국제한국어교육학회 gugjeihangug'e-gio'iughaghoi 編. pp.195-221. 2005年6月30日. 서울 (ソウル): 한국문화사 hangug- munhoasa (韓国文化社)
- 25) *나카지마 히토시 nakajima (中島仁) と共著. "일본의 한국어 교재 irbon'e hangug'e giojai'(日本の韓国語教材)
"한국어 교육론 hangug'e gio'iugron1"(韓国語教育論 3). 국제한국어교육학회 gugjeihangug'e-gio'iughaghoi 編. pp.263-298.
2005年6月30日. 서울 (ソウル): 한국문화사 hangugmunhoasa (韓国文化社)
- 26) '단어가 문장이 될 때 dan'ega munjang'i doir ddai: 언어장 이론'en'ejang 'iron - 형태론에서 통사론으로, 그리고 초형태통사론으로 hiengtairon'eise tongsaron'yro, gyrigo cohientaitongsaron'yro.' (単語が文となるとき: 言語場理論—形態論から統辞論へ,そして超形態統辞論へ)
"Whither Morphology in the New Millennium? 21세기 형태론 어디로 가는가? 21seigi hiengtairon 'ediro ganynga" (『21世紀形態論, 이즈こへ』)pp.89-121. eds. Youn-Kun Ko, et al. Seoul: 박이정 Pagijong Press. 2006年4月25日.
- 27) '현대 한국어의 용언의 분석적인 형태에 대하여 hiendaihangug'e 'iong'en'yi bunsegjeg'in hiengtai'ei daihaie'(現代韓国語の用言の分析的な形について)
"Whither Morphology in the New Millennium? 21세기 형태론 어디로 가는가? 21seigi hiengtairon 'ediro ganynga" (『21世紀形態論, 이즈こへ』)pp.89-121. eds. Youn-Kun Ko, et al. Seoul: 박이정 Pagijong Press. 2006年4月25日.
- 28) 「現代朝鮮語의丁寧化의마커-yo/-iyo について」
『朝鮮學報』第199輯・200輯合併号. pp.37-81(總45頁). 2006年7月. 天理: 朝鮮學會.
- 29)* 金珍娥 と共著. 「NHK(일본방송협회) 텔레비전 교육 방송을 통한 한국어 교육 (NHK (日本放送協會) テレビ教育放送による韓国語教育)」
『한국어 교육 (韓国語教育)』 제17권 2호. 2006년 8월 1일. pp.95-134 (總40頁). 서울 (ソウル): 국제한국어교육학회 (國際韓国語教育學會)
- 30) 「試論: ことばを学ぶ根拠はどこに在るのか—韓国語教育の視座—」
『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.1-50(總50頁). 2007年4月25日発行.
東京: くろしお出版
- 31)* 中島仁 と共著. 「日本における韓国語教育の歴史」

- 『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.69-93(総25頁). 2007年4月25日発行.
東京:くろしお出版
- 32) 「音声学からの接近」
『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.221-255(総35頁). 2007年4月25日発行.
東京:くろしお出版
- 33) 「音韻論からの接近」
『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.257-277(総21頁). 2007年4月25日発行.
東京:くろしお出版
- 34) 「形態音韻論からの接近」
『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.279-329(総51頁). 2007年4月25日発行.
東京:くろしお出版
- 35) 「動詞をめぐって」
『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.489-520(総32頁). 2007年4月25日発行.
東京:くろしお出版
- 36) 「言語存在論試考序説 I—言語はいかに在るか—」
『韓国語教育論講座第4巻』野間秀樹編著. pp.321-353(総33頁). 2008年1月25日発行.
東京:くろしお出版
- 37) 「言語存在論試考序説 II—言語を考えるために—」
『韓国語教育論講座第4巻』野間秀樹編著. pp.355-400(総46頁). 2008年1月25日発行.
東京:くろしお出版
- 38) 「韓国語学のための文献解題—現代韓国語を見据える—」
『韓国語教育論講座第4巻』野間秀樹編著. pp.515-534(総20頁). 2008年1月25日発行.
東京:くろしお出版
- 39) 「音と意味の間に」
『國文學』2008年10月号. 第53巻14号. pp.58-69(総12頁). 東京:學燈社.
- 40) 「現代朝鮮語研究の新たな視座:〈言語はいかに在るか〉という問いから—言語研究と言語教育のために—」
第59回朝鮮学会大会公開講演. 2007-2009年度科学研究費補助金基盤研究(C)報告書. pp.1-133(総133頁). 東京:東京外国語大学大学院地域文化研究科野間秀樹研究室
- 41) 「朝鮮語の教科書が目指すもの」
『外国語教育研究』. 第11号. 2008年11月1日. pp.129-151(総23頁). 東京:外国語教育学会
- 42) 노마 히데키 [野間秀樹]: ‘언어를 배우는 〈근거〉는 어디에 있는가—한국어 교육의 시점—’ (ことばを学ぶ(根拠))どこにあるのか—韓国語教育の視点—)
“한글”(『ハングル』). 282호. 2008년 겨울치. 한글 학회 창립 100돌 기념 특집. 2008년 12월 30일. pp.235-276(総42頁). 서울(ソウル): 한글 학회(ハングル学会)
- 43) 노마 히데키 [野間秀樹]: ‘대우표현과 대우법—몇 가지 시각’ (待遇表現と待遇法—いくつかの視角)
“한국어교육 연구”(『韓国語教育研究』). pp.57-103(総47頁). 2009년 제4호. 大田:배재대학교 한국어교육 연구소(培材大学校韓国語教育研究所)
- 44) 「ハングル—正音エクリチュール革命」
『國文學』2009年2月号. 第54巻2号. 2009年2月10日. pp.46-55(総10頁). 東京:學燈社.
- 45) 「現代朝鮮語研究の新たな視座:言語はいかに在るかという問いから—言語研究と言語教育のために」
『朝鮮学報』第212輯. pp.1-66(総66頁). 2009年7月. 天理:朝鮮学会.
- 46) 「引用論小考」
『朝鮮半島のことばと社会—油谷幸利先生還暦記念論文集』油谷幸利先生還暦記念論文集刊行委員会編. 2009年11月. 東京:明石書店

- ** 「文法論の基礎概念 (1)文法基礎論, (2)言語の階層, (3)形態論, (4)文法範疇論, (5)文法論の単位と対象」
『韓国語教育論講座第 2 巻』野間秀樹編著. pp.7-145(総 139 頁). 2011 年 6 月発行予定.
東京:くろしお出版
- ** 「文をめぐる」
『韓国語教育論講座第 2 巻』野間秀樹編著. pp.199-234(総 36 頁). 2011 年 6 月発行予定.
東京:くろしお出版
- ** 「文の階層構造」
『韓国語教育論講座第 2 巻』野間秀樹編著. pp.235-282(総 48 頁). 2011 年 6 月発行予定.
東京:くろしお出版
- ** 「待遇表現と待遇法を考えるために」
『韓国語教育論講座第 2 巻』野間秀樹編著. pp.521-570(総 50 頁). 2011 年 6 月発行予定.
東京:くろしお出版
- ** 「表現様相論からの接近」
『韓国語教育論講座第 2 巻』野間秀樹編著. pp.649-668(総 20 頁). 2011 年 6 月発行予定.
東京:くろしお出版

その他の著作

【その他の著作】 (単著 | 監修) -----

- 1) ‘일본에서의 한국어 교육’(日本における朝鮮語教育)
“말글생활”(言語生活) 第 3 号 pp.160-171 (総 12 頁). 서울 (ソウル):말글社 1995 年 2 月
- 2) 「朝鮮語」
『外国語学がわかる』Aera Mook 14 pp.36-37 (総 2 頁) . 朝日新聞社 1996 年 6 月
- 3) ‘한국어를 알뜰게 잘하는 외국사람을 골탕먹이는 방법 서설’ (朝鮮語が憎たらしいほどに上手な外国人をぎゃふんと言わせる方法序説)
“계간 한글사랑”(季刊ハングル愛)第 2 号 pp.263-267 (総 5 頁) .
ソウル:한글사 1996 年 10 月
- 4) ‘일본어화자의 한국어 학습에 나타나는 발음상의 제문제: phonemic unit 와 prosody, 특히 pitch 에 대하여’ (日本語話者の朝鮮語学習に現れる発音上の諸問題: phonemic unit と prosody, とりわけピッチについて)
“SICOPS '96: The First Seoul International Conference on Phonetic Sciences”
(第 1 回ソウル国際音声学術大会) 発表要旨集 pp.268-273 (総 6 頁) .
서울 (ソウル):大韓音声学会 1996 年 10 月
- 5) 「日本の大学における朝鮮語教育とコンピュータ」
『コンピュータ&エデュケーション』. vol.3 1997. コンピュータ教育利用協議会(CIEC)会誌 柏書房
pp.56-59(総 4 頁) ISBN4-7601-1564-1
- 6) 「最もオノマトペが豊富な言語」
『月刊言語』1998 年 5 月号. vol.27,No.5 pp.30-34 (総 5 頁) 大修館書店 ISSN 0287-1696
- 7) 「朝鮮語(韓国語)の手紙」『郵政』1998 年 7 月号 p.13. 東京:郵政弘済会
- 8) 「朝鮮語」
『世界の言語ガイドブック 2 アジア・アフリカ地域』. 東京外国語大学語学研究所編.
1998 年 3 月 10 日発行 pp.168-184(総 17 頁). 東京:三省堂. ISBN4-385-35815-X
- 9) (翻訳)宋敏著「日本語系統論について」『韓国語と日本語のあいだ』
1999 年 12 月 15 日発行 pp.99-116(18 頁). 東京:草風館. ISBN4-88323-113-5 ¥4,800
- 10) 「朝鮮語学ゼミ」
『東外大ニュース』no.103. 2000 年 3 月 24 日

- p.13 (総1頁) 東京外国語大学東外大ニュース発行委員会
- 11) (翻訳校閲) 『外国人児童生徒のための日本語指導: 第5分冊—韓国語(朝鮮語)版 文法説明』
東京外国語大学留学生日本語教育センター編 翻訳: 宋美玲
2001年3月30日発行 (総124頁)
- 12) 「オノマトペと音象徴」
『月刊言語』2001年8月号. vol.30, No.9. pp.12-18 (総7頁) 東京: 大修館書店 ISSN 0287-1696
- 13) 「湖がパンチャクパンチャク輝いた—朝鮮語のオノマトペ」
『月刊言語』2001年8月号. vol.30, No.9. pp.54-55 (総2頁) 東京: 大修館書店 ISSN 0287-1696
- 14) 「韓国ポップスとことば」
『月刊しにか』2001年9月号. vol.12, No.9. pp.114-117 (総4頁) 東京: 大修館書店 ISSN 0915-7247
- 15) (翻訳監修) 東京外国語大学留学生日本語教育センター編著
『実力日本語 単語・文法解説書』(上) 韓先熙 訳 (下) 金恩愛 訳
発行: アルク. 発売: 凡人社 2001年10月1日発行. (総231頁)
(上) ISBN4-89358-477-4 (下) ISBN4-89358-488-X
- 16) 「5級 筆記の講評」「5級 聞き取り・書き取りの講評」
『第18回「ハングル」能力検定試験 (3級・4級・5級) 問題と解答』
pp.130-151, pp.164-170 (総28頁). ハングル能力検定協会編著, 発行. ISBN4-938758-89-X.
- 17) (野間秀樹監修) 『イージーハングル』 ユン・ソナ著.
2002年9月18日. 東京: 学習研究社. ISBN4-05-401810-6.
- 18) (野間秀樹監修) 『韓国語アップグレード もぎたてのソウルマル』 中西恭子著.
2004年2月. 東京: 明石書店. ISBN4750318663
- 19) (野間秀樹監修) 『朝鮮半島の文字「ハングル」と言葉』『世界の文字と言葉入門』シリーズ.
こどもくらぶ著. 2004年4月. 東京: 小峰書店. ISBN 433819703X
* 全国学校図書館協議会選定図書
- 20) (野間秀樹監修) 『韓国語文法辞典』 白峰子著. 大井秀明訳. 2004年9月10日発行.
総537頁. 東京: 三修社. ISBN4-384-00224-6
- 21) 'Korean'
“Encyclopedia of Linguistics” Philipp Strazny (ed.). 2005.2. 2 volumes. vol.1. pp.579-584 (総6頁)
New York: Fitzroy Dearborn. ISBN1-57958-391-1
- 22) (野間秀樹監修) 『NHK テレビ アンニョンハシムニカ ハングル講座』 金珍娥著.
放送: NHK 教育テレビ 2005年4月—2006年3月. テキスト: 東京: 日本放送出版協会.
- 23) 「まえがき」「大質問館」(連載)
『NHK テレビ アンニョンハシムニカ ハングル講座』
2005年4月号—2006年3月号. 東京: 日本放送出版協会.
- 24) 「15位占める大言語, 話し手は7千万人超: 世界で息づく朝鮮語—もはや朝鮮半島だけの言葉ではない」
『イオ』2006年3月号. p.10. 東京: 朝鮮新報社.
- 25) 『『エスペラント日本語辞典』の快樂』
『エスペラント La Revuo Orienta』2006年. 東京: 日本エスペラント学会
- 26) 「書物をつくる—ことばを学び=教えるために」
『月刊言語』2007年10月号. pp.6-7. 東京: 大修館書店
- 27) ‘한글 학회 창립 100 돌 기념 대담’ (ハングル学会創立百周年記念対談) (리의도 교수와 대담)
"경향신문"(京郷新聞), 2008년 8월 30일.
- 28) 「韓国語, 私の原点」
『韓国語ジャーナル』2009年冬, 27号. 2009年1月19日. pp.16-17. 東京: アルク
- 29) 「ハングルという文字から普遍を問う」
『月刊百科』. 2010年7月号. pp.4-5. 東京: 平凡社

- 30) 「〈文字〉という奇跡」
『週刊読書人』. 2011年1月7日号
- 31) 「嬉しい韓国語」
『月刊百科』. 2011年1月号. vol.579. pp.4-5. 東京:平凡社
- 32) 「韓国語を楽しく学ぶために」
『エスペラント La Revuo Orienta』. 2011年4月. pp.20-21. 東京:日本エスペラント学会
- 33) 「韓国語をさらに楽しく学ぶために」
『エスペラント La Revuo Orienta』. 2011年5月. pp.18-19. 東京:日本エスペラント学会
- **) 「韓国語をいよいよ楽しく学ぶために」
『エスペラント La Revuo Orienta』. 2011年6月. pp.18-19. 東京:日本エスペラント学会